

平成17年度資料電子化研修
Webサイトの企画・設計

2005.9.16

(Ver1.0)

アルファサード株式会社

<[http:// alfasado.net/](http://alfasado.net/)>

野田純生

<junnama@alfasado.jp>

はじめに - Webサイトとは何か？

- 1冊の本のように、ひとまとまりに公開されているWebページ群。
- また、そのWebページ群が置いてあるインターネット上での場所。
- Webサイト内のページはリンクで連結され、互いに行き来できるようになっている。
- Webサイトの入り口であるトップページ(ホームページ)と、Webサイトを構成する一連のWebページ、画像ファイルなどから成る。

出典：IT用語事典 <<http://e-words.jp/w/WebE382B5E382A4E38388.html>>



資料を電子化し、公開する。

- すべての人に対して、貴重書という“素材”を「1冊の本のように」ひとまとまりの「作品」にして公開する、ということ。
- サイト内のページはわかりやすく分類した上でリンクで連結され、利用者は目的の情報に迷わずたどり着けるようになっている。

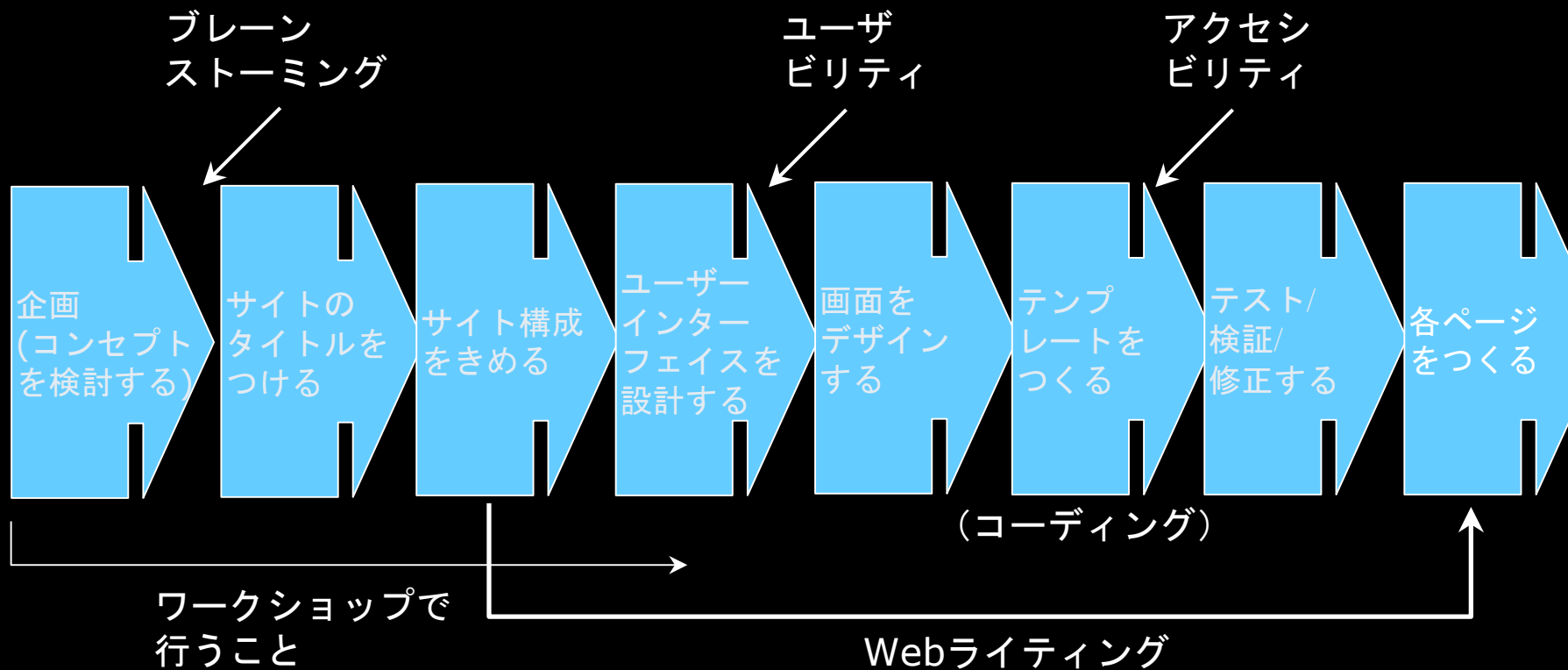
はじめに - Webサイトとは何か？

- 良いWebサイトとは、どんなサイトでしょうか？
- あなたの好きなWebサイトは？

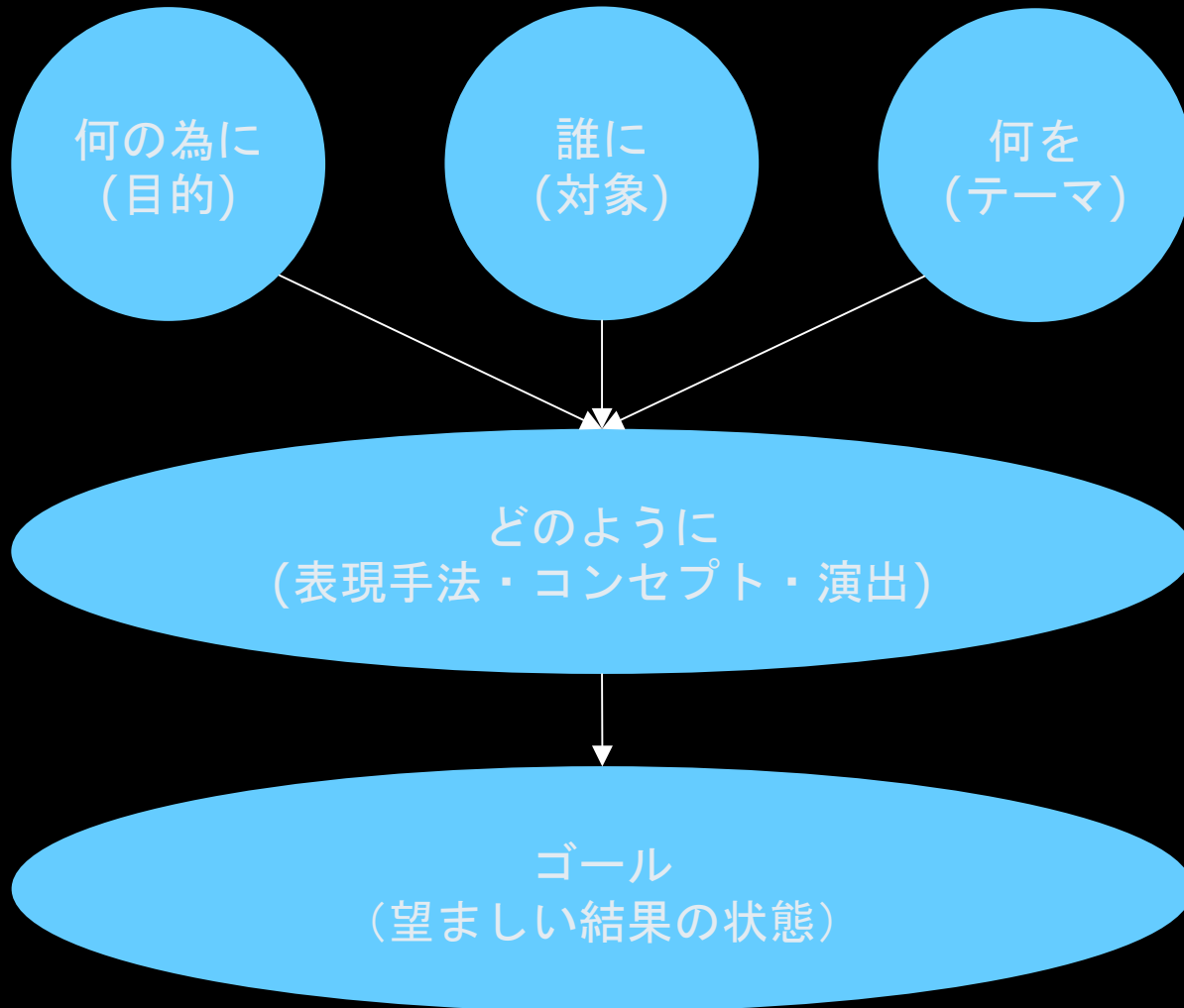
さあ、Webサイトをつくりましょう！

0. Webサイト制作のワークフロー

- Webサイト企画・制作の流れ

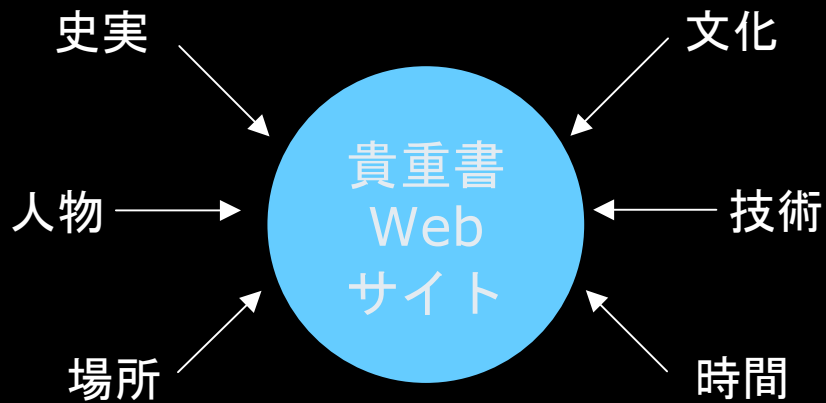


1. 企画のプロセス



2. 演出の考えかた

どのように？(例えば、貴重書Webサイトでは?)



2. 演出の考えかた

どのように？

<<利用者の目線>>

- 特定の写真を探している
- 時系列に沿って見たい
- 特定の地域の情報だけを見たい...
- RSSリーダーでサイトの
新着情報だけを見たい...

貴重書
Web
サイト

<<発信者の目線>>

例：
貴重書の背景にある
人物のストーリーを
見せたい...

演出は不要か？

2. 演出の考えかた

何のための演出？何のためのデザイン？

- 「演出」「デザイン」は発信者からの提案。
- フレキシブルにアクセスできる寛容性・多様性を持たせながら、
- 発信者からの提案（演出・デザイン）を加えることで、
- 「作品」は生き生きとし、魅力的になり、利用者をひきつけるようになる。

3. コンセプトを明文化する

サイトのねらいを短い文章で表現し、
サイトのタイトルを決める

[例]

何の為に(目的)

日本の近代化の
一面(軍事・戦
争)を後生に語
り継ぐ

誰に(対象)

日本の近代史に
興味のある国内
外の大人、近代
史を学んでいる
学生(大学生)

何を(テーマ)

軍艦の写真、演
習の写真、人物
写真、関係者の
証言、関係文書
等

どのように
(表現手法・コンセプト・演出)

タイトル：「明治期の軍艦～明治末期の日本海軍」

「軍艦」を切口に当時の日本海軍の素顔を演習風景も交えながら紹介。

ゴール (望ましい結果の状態)

どんな人が・・・国内外の研究者、歴史を研究する学生などがアクセス。
どんな反響・・・問合せが寄せられる、自分の所蔵している写真や情報を寄贈する、
今後も他の資料を公開して欲しいという声(どのくらい?)寄せられる等。
どんな評価・・・メディアやポータルサイト等からの問合せがあり、紹介される。

4. サイトのタイトルをつける（ネーミング）

ネーミングのポイント

- 「外」から見て内容が想像できるものにする。
 - × 「闘いに生きた海の男たち」
 - 「明治期の軍艦～明治末期の日本海軍～」
- 利用者が「検索」するであろうキーワードを含める
- 情緒的な表現、凝ったコピーは「検索」されなくなる

参考：2005年7月の検索数(※)

海軍：6,306

軍艦：4,032

明治：57,373

闘い：84

(※この部分の画像は削除しました)

※キーワードアドバイスツール

→<[http://inventory.overture.com/d/
searchinventory/suggestion/?mkt=jp](http://inventory.overture.com/d/searchinventory/suggestion/?mkt=jp)>

5. コンセプトを視覚化する

視覚化の方法

- イメージを「ことば」にする
→「やわらかい」「かたい」「信頼性のある」「親しみの持てる」「シンプル」「楽しい」...
- 基調となるカラーを決める（1色または2色(キーカラーとサブカラー)）
→「同系色」はなじみやすく、「反対色」は力強い
- 見本にしたいWebサイトを探す
→デザイナーに作りたいイメージに近いサイトを伝えると「ぶれ」にくい

5. コンセプトを視覚化する

視覚化の方法

- 見本にしたいWebサイトを探す
→デザイナーに作りたいイメージに近いサイトを伝えると「ぶれ」にくい



どんなサイトにしたいか。
そのサイトの「どこが」良いと思うか。

6. サイトの構成を考える

情報にたどり着きやすいWebサイトの構成

- メインとなる切り口を決める

→例：「時系列」「カテゴリ(A)」「カテゴリ(B)」「50音(ABC順)」...

- 情報をグルーピングし、階層化する

→階層は「広く浅く」、項目が多い場合は視覚的にグループ化する

- 複数の切り口で参照できるようにする

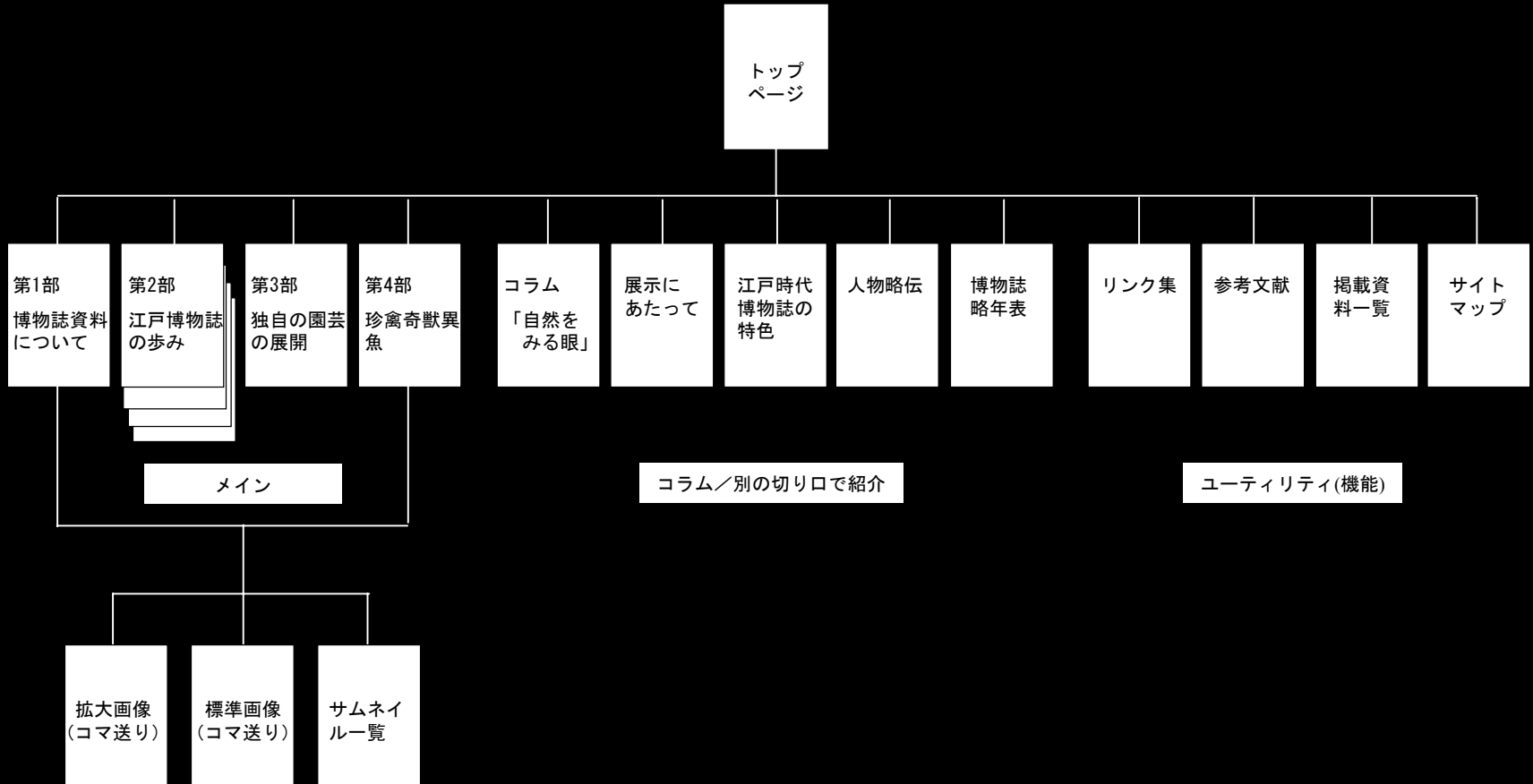
→例：「時系列」「カテゴリ」「キーワード」でそれぞれ到達できるようにする



ツリー (チャート)図を作る

6. サイトの構成を考える

例：ツリー (チャート) 図を作る



7. ユーザーインターフェイスを設計する

ユーザーインターフェイス(ナビゲーションシステム)の設計

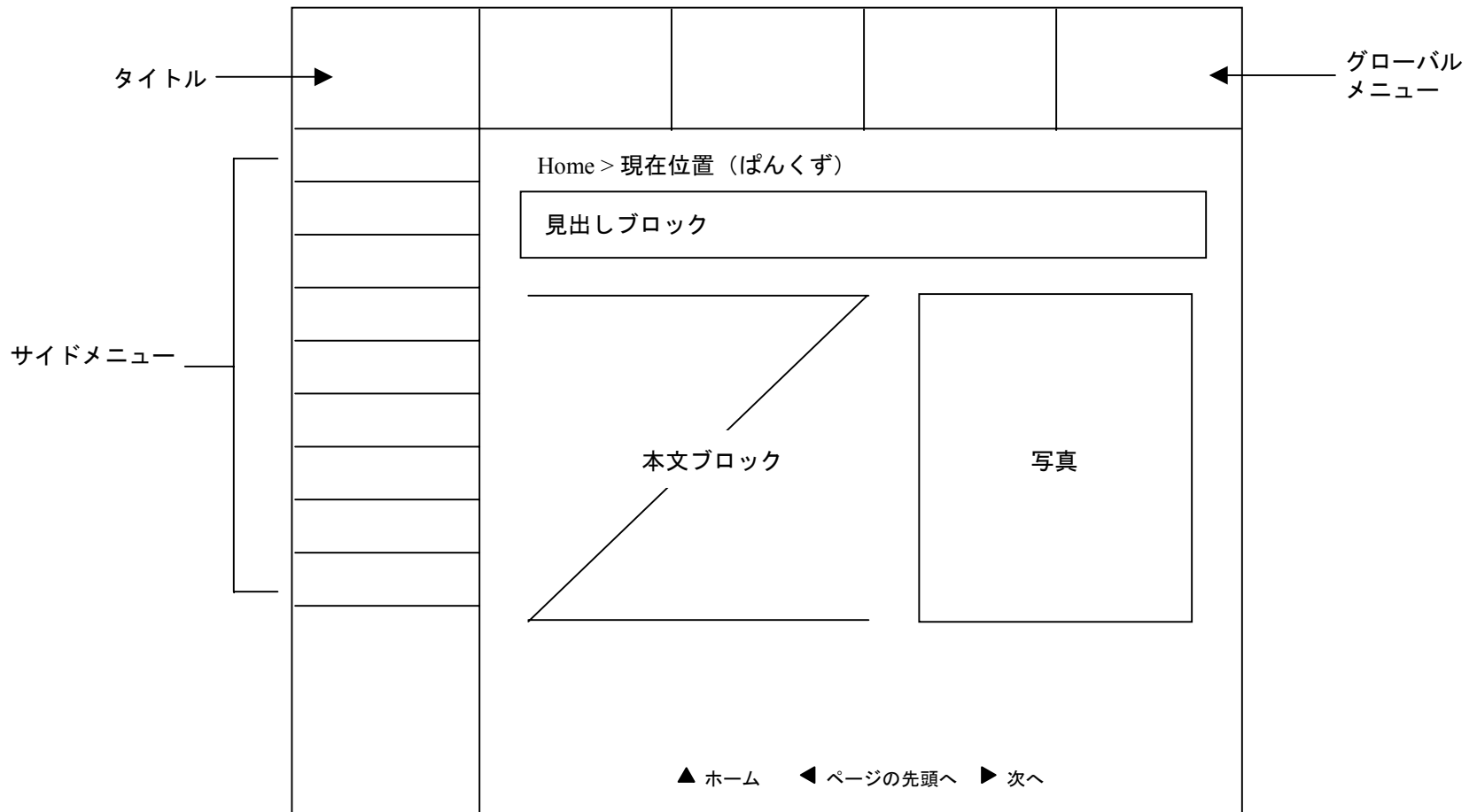
- サイト全体に統一感を持たせ、学習しやすいようにする
- Webの良くあるパターンを踏襲する
→例：「左上はロゴ、ロゴをクリックするとTopへ」「画面上部にグローバルナビゲーション」「画面左(右)に同階層の(サブ)ナビゲーション」「画面下部/上部に"ユーティリティ(機能)"」を配置する



ワイヤーフレーム(線画による画面配置設計図)を作る

7. ユーザーインターフェイスを設計する

例：ワイヤーフレーム(線画による画面配置設計図)を作る



8. 画面をデザインする(1)

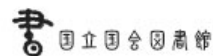
例：視覚化されたコンセプト(サンプルサイト),
ワイヤーフレームからデザインする

(※電子展示会開発途中の画面のため削除しました)

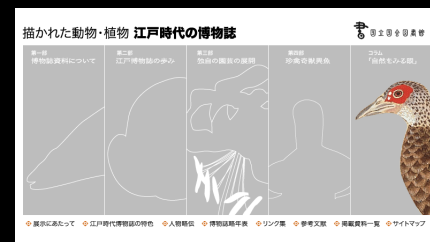
8. 画面をデザインする(2)

例：視覚化されたコンセプト(サンプルサイト)、
ワイヤーフレームからデザインする

描かれた動物・植物 江戸時代の博物誌



◆ 展示にあたって ◆ 江戸時代博物誌の特色 ◆ 人物略伝 ◆ 博物誌略年表 ◆ リンク集 ◆ 参考文献 ◆ 掲載資料一覧 ◆ サイトマップ



8. 画面をデザインする(3)

例：視覚化されたコンセプト(サンプルサイト),
ワイヤーフレームからデザインする

(※電子展示会開発途中の画面のため削除しました)

9. テンプレートをつくる

HTML(XHTML),CSSによるデザインテンプレートの作成

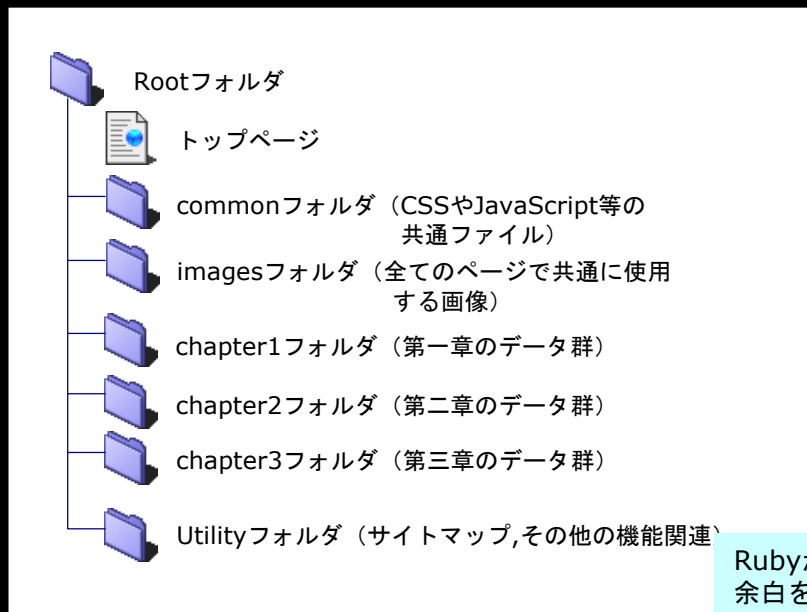
- データ構成を設計する
→ 共通ファイルをまとめる、カテゴリ毎にフォルダ分けする等
- メンテナンス性/作業効率を考えながらコーディングする(※)
→ オーサリングツールを使う/使わない(テキストエディタを使う)、
CSSをどこまで使う、CSSのルール、コメント
- 文書を正しく構造化する
→ 「タグ」で構造化する(見出しをつける、段落をわけ、見栄え調整のために表組(table要素)を使わない、等)



ファイル構成とコーディングのルールを決める

9. テンプレートをつくる

例：ファイル構成/デザイン/コーディングのルールをつくる



現在位置は画像を表示

240px固定 25% 4分割

UI/liのリスト(id=gMenuBox)

h1

h2

h3

P(インデント1文字分)

Rubyが来る場合上部余白をclass=inRubyで調整

50% 50%

100%

かかれた動物・植物 江戸時代の博物誌

序章 博物誌資料について

第一章 江戸博物誌の歩み

第二章 独自の園芸の展開

第三章 珍禽奇獣異魚

Home > 第1章 江戸博物誌の歩み > | 発展へ

1 江戸博物誌の歩み

1 発展のきっかけ-17世紀

『本草綱目』の到来から『大和本草』刊行まで-独自の方向への第一歩

h2 本草綱目』の渡来とその普及

明の李時珍が諸本草書を集成・増補して『本草綱目』を出版したのことは1596年のことであつた。これは日本の慶長元年にあたりますが、早くも慶長9年(1604)には、動植物の形態などの博物誌的記述が従前の本草書より与え、中国からたびたび輸入されるとともに、和刻本も続出し、帯にまで入り込んで普及していった。

h3 『本草綱目』

李時珍撰 初版 金陵 万曆18(1596)刊 27冊のうち冊1 <205-5>

初版は出版地に因んで「金陵本」(金陵は今の南京)と呼ばれています。図示した個所に著者以下関係者の姓名があり、その最後に「金陵 後学胡承龍梓行」と出版地が示されています。初版は稀本で、完本は世界に7点しか残っていませんが、日本には国立国会図書館、東洋文庫、内閣文庫、東北大学狩野文庫と4点も存在します。

10. 検証する

様々な環境でのテスト/検証/修正

- 様々な環境(ソフトウェア,OS,ブラウザの設定を変えて)でテストし、不具合がなくなるまで修正を繰り返す
 - Windows, Mac OS,Linux...
 - Internet Explorer, Firefox,Opera,音声ブラウザ, テキストブラウザ
 - ブラウザウィンドウのサイズを変更,配色を変更,ユーザーCSS
- 良いWebサイトとは、ユーザーが好きな環境で、好きなように利用できるサイト



ここまでできれば、80%完成したも同然!!
※これ以後の修正/方針変更は絶対にしない!!

附録：Web制作の要素技術解説

附録(1) : Webライティング

Webに適した文章作成作法とは？

- 簡潔に書く
 - コンピューターの画面上では読みにくい
 - 「紙の半分」の心構え
- 流し読みしやすくする
 - ユーザーは深くまず「ざっと」読む
 - 見出しや箇条書きを多様して、すべて読まなくても内容が把握できるようにする
- 直感的に把握できる文章にする
 - ページタイトルはそのまま別のページではリンクテキスト(ボタンの文字)になる
 - 情緒的な文章や比喩を用いたキャッチコピーを書かない
- 複数の言い方がある用語はユーザーが検索する言葉で書く
 - 不必要な英文を使わない
 - 検索されやすい単語を使う

附録(2) : Webアクセシビリティ(1)

誰もがアクセスできるWebサイトとは？

- Webアクセシビリティとは...
 - Webを利用するすべての人が、年齢や身体的制約、利用環境等に関係なく、Webで提供されている情報に問題なくアクセスし、コンテンツや機能を利用できること。
- 視覚障害者は「音声ブラウザ」で、弱視の人は文字サイズを大きくして(画面色を反転させ、コントラストを強くして)、上肢体不自由者はマウスを使わずにキーボードで、色覚異常の人は色に依存せずに情報が得られる、等に配慮する。
- JIS X8341-3 (日本工業規格) 「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報機器における機器, ソフトウェア及びサービス-第三部 : ウェブコンテンツ」に配慮すべきポイントがまとめられている。

附録(2) : Webアクセシビリティ(2)

Webアクセシビリティを確保するポイントは？

- 音声ブラウザで読みやすく作る
 - ページにはわかりやすいタイトルをつける
 - 画像にはテキストによる代替情報を指定する
 - HTMLの中での情報の出現順に気をつける
 - 見出しを多めに、長い文章は箇条書きにする等、文章を構造化する
- マウスに依存しないで扱えるようにする
 - すべてキーボードでアクセス出来るようにする
- 色だけに依存しない
 - 情報の識別を色だけでさせない
 - 色に色を重ねる時には、コントラストと色の差を充分にする

附録(3) : SEO(検索エンジン最適化)

検索されるWebサイトとは？

- 検索エンジンが理解しやすくする
 - ページにはわかりやすいタイトルをつける
 - 画像にはテキストによる代替情報を指定する
 - HTMLの中での情報の出現順に気をつける
 - 見出しを多めに、長い文章は箇条書きにする等、文章を構造化する

※つまり、音声ブラウザにやさしいページは、検索エンジンにもやさしい!

- 良質なリンクをたくさんもらう
 - 検索エンジンが高い評価をしているページからリンクをもらう
 - 関連性の高いページからリンクをもらう

- 検索されるテキストで書く
 - 例 : ○「紀ノ川」 × 「紀の川」 , ○「タイガース」 × 「Tigers」 等

さあ、Webサイトをつくりましょう！

(質疑応答)

平成17年度資料電子化研修
Webサイトの企画・設計
ワークショップ

2005.9.16

(Ver1.0)

アルファサード株式会社

<[http:// alfasado.net/](http://alfasado.net/)>

野田純生

<junnama@alfasado.jp>

(ブレインストーミング)

(コンセプトシート作成)

(構成案作成)
(ワイヤーフレーム作成)

(プレゼンテーション)